



NEWS RELEASE

廃食用油で航空機が飛ぶ未来へ！

「Fry to Fly Project」に参画 資源循環と脱炭素社会の実現に貢献

FRY of FLY Project

OAB大分朝日放送株式会社（本社：大分県大分市、代表取締役社長：佐古浩敏）は、昨年10月から企業と県民と一緒にカーボンニュートラルを実現するため、大分市内のリサイクル事業者等とタッグを組み、家庭由来の廃食用油の回収・リサイクル事業「OAB 食後の油大回収プロジェクト」を展開しています。OABの本社や県内のスーパーや商業施設などへの回収ボックスの設置や、回収を呼び掛けるTVCMを制作・放送し、周知などに取り組んでいます。その取り組みの一環として、このたび民放では初となる「Fry to Fly Project」に参加しました。



Fry to Fly Projectは、廃食用油（使用済みの食用油）を

原料としたSAF（Sustainable Aviation Fuel：持続可能な航空燃料）で、航空機が飛ぶ世界を実現するプロジェクトです。

当社では、社屋内に回収ボックスを設置し、廃食用油の

回収を行っています。その廃食用油を、国産SAFの原料として今月から合同会社SAFFAIRE SKY ENERGYへの提供を開始しました。

OAB本社に設置中の回収BOX

今回の参加を通じて、廃食用油の有効活用に関する認知向上を図るとともに、地域における資源循環の取り組みをさらに推進してまいります。

今後も「OAB 食後の油大回収プロジェクト」を通じて、地域の皆さまとともに環境負荷の低減と持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

Fry to Fly Projectについて

Fry to Fly Projectは、家庭や飲食店などから出る使用済みの食用油（廃食用油）を回収し、航空機の燃料「SAF」として再利用する全国的な取り組みです。SAFは従来の航空燃料と比べてCO₂排出量を大幅に削減できるとされていて、航空業界の脱炭素化に向けた切り札として期待されています。捨てればごみとなる廃食用油を資源として循環させることで、持続可能な社会の実現を目指すプロジェクトです。

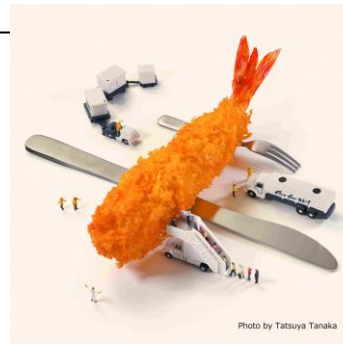


Photo by Tatsuya Tanaka

日揮ホールディングス株式会社提供

【お問い合わせ】大分朝日放送株式会社 地熱TVプロジェクトチーム TEL: 097-538-6111